

事業指標の設定

- 令和元年12月に改定した札幌市強靱化計画は令和5年度までの5か年計画として、札幌市が抱える自然災害リスクや地域課題等に対応した22項目のリスクシナリオを設定。さらに、リスクシナリオの回避に向けた脆弱性評価の実施結果から、46項目の施策プログラムと206項目*の推進事業を設定。
*重複と経常的経費による事業を除くと143項目
- リスクシナリオごとに事業の進捗状況を客観的に把握するため、79項目の事業指標を設定。
- 推進事業は具体性を持った着実な行動計画とするため、札幌市の中期実施計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」にも設定。

進捗状況

No./リスクシナリオ名	事業指標数	令和3年度末までに達成	令和4年度末に達成見込	達成困難又は困難見込
1-1 地震等による建築物等の大規模倒壊や火災に伴う死傷者の発生	15	0	11	4
1-2 土砂災害による多数の死傷者の発生	1	0	1	0
1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	2	1	1	0
1-4 暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生	1	0	1	0
1-5 積雪寒冷を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大	1	0	1	0
1-6 情報収集・伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大	2	2	0	0
2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	1	1	0	0
2-2 防災関係機関の被災等による救助・救急活動の停滞	7	2	4	1
2-3 被災地における保健・医療・福祉機能等の麻痺	2	0	2	0
2-4 旅行者を含む大量の帰宅困難者の発生	3	0	3	0
2-5 避難所の開設・運営の不備による避難所環境の悪化	1	0	1	0
2-6 市民・地域コミュニティの防災活動、防災教育の不足による被害の拡大	5	1	3	1
3-1 市内外における行政機能の大幅な低下	4	3	1	0
3-2 災害対応体制整備の不備による被災者支援の遅れ	0	0	0	0
4-1 エネルギー供給の停止	8	4	1	3
4-2 食料の安定供給の停滞	6	3	1	2
4-3 上下水道等の長期間にわたる機能停止	6	0	6	0
4-4 道外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止	9	0	8	1
5-1 サプライチェーンの寸断や中枢機能の麻痺等による企業活動等の停滞	2	0	2	0
6-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復旧・復興の大幅な遅れ	0	0	0	0
6-2 復旧・復興等を担う人材の絶対的不足	1	0	0	1
6-3 貴重な文化財や観光資源の喪失	2	1	1	0
合計	79	18	48	13

◆ 令和3年度に達成した取組

事業名	事業指標	R3実績値	目標値
総合的な治水整備事業	計画期間内における治水整備により軽減される浸水被害面積	15ha	15ha
ジュニアバイスタンダー育成事業	小・中学校における育成事業実施校割合	100%	100%
保健所等災害対策事業	非常用電源設置施設数（保健所、保健センター）	11カ所	11カ所
消防出張所改築事業	防災拠点強化施設数（消防出張所）	4カ所	4カ所
情報通信伝送路リスク分散対策事業	本庁舎や区役所等を結ぶ新たな自営光ファイバーケーブル	整備	整備
下水道エネルギー・資源有効利用事業	下水道エネルギーの有効利用による温室効果ガス削減量	2,967 t-CO2	2,967 t-CO2
食品販路拡大促進事業	食品販路拡大事業の成約・売上合計額（累計）	36億円	34億円
食品認証取得支援事業	食品の製造品質・衛生管理に係る認証取得件数（累計）	50件	45件
道内連携国内販路拡大支援事業	マッチング・販路拡大事業に参加した企業の商談額（累計）	1,054 百万円	887 百万円

◆ 令和3年度に達成困難となった主な取組

事業名	事業指標	R4見込値	目標値
児童会館等再整備事業	新型児童会館整備数	15館	16館
震災対策用消防水利整備促進事業	耐震性貯水槽の整備率	84%	85%
水道施設への再生可能エネルギー導入事業	水道施設における再生可能エネルギー発電量	297 万kWh	720 万kWh

総括

- 主要事業79項目のうち、9項目が新たに目標を達成し、全部で18項目が目標を達成しています。
- 概ね計画どおりの進捗となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、達成困難又は困難見込みとなっている取組があります。